

# 「雪崩災害防止パネル展」概要について

## 1. 開催趣旨

12月1日から12月7日までの「雪崩防災週間」にあわせ、雪崩災害防止に対する県民の理解と関心を深め、防災意識向上につなげるため、雪崩の前兆現象や全国の雪崩発生事例等を紹介するパネル展を開催します。

## 2. 展示物

### ①額装……7枚

- ・雪崩に関する解説および雪崩防止施設設置状況

### 雪崩（なだれ）とは

山の斜面に積もった雪が、一気に崩れ落ちる現象を「雪崩」といいます。雪崩には2種類あり、「表層雪崩」と「全層雪崩」に分けられます。積雪の多い地域では、今後、雪崩の発生する危険性が高まるので注意が必要です。

積雪の多い地域では、雪崩への注意が必要よ。

※表層雪崩  
山面に積もった雪のうち、表層部に積もった新しい雪が崩れ落ちる現象。

<主な特徴>  
1. 積雪の厚さに比べ崩れ落ちる雪の厚さが薄い。  
2. 崩落のスピード：時速100～200km/h  
3. 山腹の斜面に発生しやすく、特に雪崩（ほっけ）が吹きさらしになっている斜面で発生しやすい。  
4. 1月から2月にかけて多く発生する。

※全層雪崩  
山面に積もった雪が、全て崩れ落ちる現象。

<主な特徴>  
1. 積雪の厚さに比べ崩れ落ちる雪の厚さが薄い。  
2. 崩落のスピード：時速40～80km/h  
3. 崩落の発生は斜面や山腹斜面で発生しやすい。  
4. 崩落の時に電柱（クワック）があるときに発生する恐れがある。

雪崩には2種類あるんだね。マジでー？

### 雪崩防止施設

ここでは、雪崩発生のおそれがある場所に雪崩防止施設を設置し、雪崩災害から人命を守っています。雪崩防止施設には、予防網、防護網、減勢工などがあります。

※雪崩減勢工  
大野市 鹿野（いぶり）地区

※雪崩防止環境  
熊山市 北山町西ヶ原地区

いろいろな地形で、様々な雪崩防止施設から守っているんだね。

- ・雪崩の前兆現象

### 雪崩の前兆現象 1

※積雪（むっけ）  
雪は、風により斜面付近に堆積された雪が斜面下部に堆積し、むっけ状に成長したものです。積雪の厚さが一定を超えると、雪崩を誘発する危険性があります。また、山腹などの危険な地点では、積雪の厚さを定期的に確認し、危険な状態になったら、危険な場所から避難する恐れがあります。

※氷割（クラック）  
斜面にひびくかき割のような雪の割れ目が見られる現象です。これは積もった雪の重み、少しづつ動き出すことによる状態です。その状態が大きくなると全層雪崩が起る危険があります。

### 雪崩の前兆現象 2

※巻きだれ  
雪崩が斜面から崩れ出し、斜面下部に堆積した雪が再び崩れ落ちる現象です。巻きだれは、雪崩が斜面下部に堆積することによって、雪崩につながる危険があります。

※斜面が平らになっている  
斜面に、雪の重みがかかると、斜面下部の雪が崩れ落ち、斜面が平らになります。これは、雪崩を誘発する危険があります。雪の厚い山などは特に注意が必要です。

※スノーボール  
斜面下部に積もった雪の重みがかかると、斜面下部の雪が崩れ落ち、斜面下部に積もった雪が再び崩れ落ちる現象です。これは、雪崩を誘発する危険があります。スノーボールが多く見られるときは、特に注意が必要です。

※雪むしり  
斜面下部に積もった雪の重みがかかると、斜面下部の雪が崩れ落ち、斜面下部に積もった雪が再び崩れ落ちる現象です。これは、雪崩を誘発する危険があります。雪むしりが見られるときは、特に注意が必要です。

前兆現象が見られたら → 斜面に近づかない。市役所、市役所や土木事務所へ連絡してください。

資料：国土交通省HPより